

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和7年11月21日

多治見市議会 議長 様



会派名 政友会

7 番議員 氏 名 加藤智章

質問題名	中京学院大学の誘致を見据えての教育、防災、産学連携を軸としたまちづくりについて
質問要旨	先般、令和9年4月の中京学院大学のキャンパス移転が発表されました。またそれに先立って、令和8年4月には笠原こども園の開園および笠原小中学校の開校も予定されています。 笠原地区を中心に本市の教育環境が大きく変化する中、本市の未来を担う人材育成をどのように進めるべきか。 あるいは南海トラフ地震をはじめとした大規模災害発生時に、地域住民が結束して対応するために必要な対策とは。 新たな教育環境と、地場産業である陶磁器・タイルを関連付けたまちづくりとは。 これらの課題について、その解決策を探るべくご質問いたします。
質問項目①	中京学院大学の移転による、本市にとってのメリットを考えられる点についてお聞かせください。
質問項目②	中京学院大学と笠原こども園、笠原小中学校をはじめとする市内の小中学校とのコラボレーションによる相乗効果についてお聞かせください。
質問項目③	大規模災害に備えた平常時の避難訓練実施において、中京学院大学および市内小中学校と地域住民がともに取り組むことが重要と考えますが、本市の見解をお聞かせください。
質問項目④	地場産業と中京学院大学による産学連携を通じた地域経済の振興策に対する本市の見解をお聞かせください。
質問項目⑤	本市としての「大学を核とした総合的なまちづくりビジョン」の策定について、本市の見解をお聞かせください。
質問項目⑥	上記の取り組みは、長期的な視野で捉えると本市の少子化対策に一定程度効果が見込めると考えますが、本市の見解をお聞かせください。
質問の相手方	企画部、経済部、教育長